

氏名	山岸直子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	慢性看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	2007年聖路加看護大学大学院博士前期課程、2018年首都大学東京大学院博士後期課程				
経歴	2008年慶應義塾大学看護医療学部助教、2013年東京医科大学医学部看護学科講師、 2017年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会（役職）	日本看護科学学会、日本糖尿病教育・看護学会、日本慢性看護学会、日本がん看護学会、日本看護学教育学会、日本リハビリテーション看護学会、保健医療福祉科学学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	独居の高齢糖尿病患者の食事療法の自己管理の取り組みと関連する要因	共著	あり		日本糖尿病教育・看護学会誌,26(1),9-22	山岸直子、勝野とわ子
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	人生の最終段階に向けた医療・ケアの意思決定に関する住民調査～埼玉県A市における横断的調査の結果から～	共同	第4回日本エンドオブライフケア学会学術集会（Web開催）	山口乃生子、會田みゆき、山岸直子、畔上光代、河村ちひろ、星野純子、浅川泰宏、佐瀬恵理子、島田千穂	2021.9	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	2019年～2021年埼玉県立大学研究開発センター 人生の最終段階に向けた医療・ケアに関する住民の意思表示プロセスを推進する研修プログラムの開発（中間報告）	共著	埼玉県立大学研究開発センター	山口乃生子、會田みゆき、浅川泰宏、畔上光代、河村ちひろ、星野純子、山岸直子、佐瀬恵理子、島田千穂	2022.3	
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（若手研究）	高齢糖尿病患者のセルフケア支援のためのアセスメントツールの開発	研究代表者	2019.4～2023.3		
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	地域資源を活用した住民による家族参加型アドバンス・ケア・プランニング研修の効果	研究分担者	2020.4～2023.3		
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	バーチャルリアリティ教材を活用した臨床推論力育成プログラムの開発	研究分担者	2020.4～2023.3		
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	成人看護学Ⅴ（慢性看護）	○	11	2年生を対象に、概論講義、看護過程演習のガイダンスや解説・グループワーク、慢性腎臓病患者の看護・退院支援の講義を行った。授業前後小テストやグループワークなどを組み合わせ主体的な学習を促した。		
2	フィジカルアセスメント		7	修士課程1年生を対象に、身体診察と病歴聴取における実践の振り返り、オンラインでの臨床推論シミュレーション演習を実施した。		
3	看護学演習（基礎看護技術・看護工学）		1	修士課程1年生を対象に、質的研究の研究計画書作成について講義を行い、これまで実際に行ってきた研究例を提示しながら解説した。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	成人看護学Ⅴ(慢性看護)	○	3	2年生を対象に、慢性病患者への看護技術(血糖自己測定、インスリン自己注射)の指導を行った。
2	臨床実践看護		6	4年生を対象に、輸液管理、陰部洗浄・オムツ交換の演習を担当した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習:期間 学内実習:コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	成人看護学実習Ⅰ		2021.5~2021.6	遠隔実習を担当し、術前患者への援助を行う模擬的な経験(術前オリエンテーションのパンフレット作成・実践)を通し学びを促した。
2	成人看護学実習Ⅱ		2021.5~2021.6	学内・遠隔実習を担当し、技術演習、退院支援パンフレット作成、多職種連携について動画や事例を用い臨床状況に近づけた学習を工夫した。
3	総合実習		2021.7	学内での技術演習とシミュレーション演習を担当した。シミュレーション演習では肺炎患者、術後患者の観察のシナリオ作成と運営を行った。
4	IPW実習		2021.10	4年生を対象にオンラインでの実習を行った。チーム形成の振り返りを丁寧に行い、互いの役割の理解・尊重、専門性の発揮を促した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2021.4~2021.12	主指導 2名	副指導 名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研究会、公開講座等の講師				
	講演会、研究会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	看護研究指導	東川口病院	病棟ごとに取り組む看護研究の指導	2021.4~2022.3
2	アドバンス・ケア・プランニングセミナー	研究開発センター A2研究プロジェクト	ともに考え伝え合う「もしも」の時までの生き方	2021.10
3	家族参加型アドバンス・ケア・プランニング研修(第1回・第2回)	研究開発センター A2研究プロジェクト	さいごまで自分らしく生きるための心づもり -気づく 備える 話し合う	2022.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	埼玉県看護協会	学会委員長(学会運営、査読)		2021.6~2023.3
2	日本看護学教育学	日本看護学教育学会誌 専任査読者		2021.4~2022.3
3	日本看護協会	日本看護学会 慢性期看護論文選考委員		2021.9~2022.3
4	日本看護協会	第52回日本看護学会学術集会 抄録選考委員		2021.4~2021.11
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	奨励研究部会 委員		2020.4~2022.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会 委員		2021.4~2022.3
3	学長指定プロジェクトへの関与	研究開発センターA2研究プロジェクトメンバー		2019.4~2022.3
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	日本エンドオブライフケア学会優秀演題	日本エンドオブライフケア学		2021.9

7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		